

緊急支援物資配布報告書

2009年10月10日

1. 地域 : パダンパリアマン県 コロン・マライ・タンガ村
(パダン市より2時間半).
2. 日付 : 2009年10月10日
3. 時間 : 2.30 pm - 6 pm
4. 場所 : SMPNI 中学校校庭
5. 世帯数 : 421 世帯
6. 配布数 : 400 袋 (1袋につき13品目)
7. 予算 : 138,400,000 ルピア = US \$ 14,723.4 (1 USD = 9,400 Rp) 約1,325,000 円
8. スタッフ : 4名 (ジャカルタ本部2名、メダン事務所1名、日本事務所1名)
9. ボランティア : 地元ボランティア12名
10. 警備 : 警察官2名

11. この地区に含まれる小地区:

- a. Dusun Malai Mudo, 94 世帯
- b. Dusun Padang Malai (Balai Kamih), 22 世帯
- c. Dusun Padang Malai (Durian Tuga), 20 世帯
- d. Dusun Padang Malai (Limau Kapeh), 18 世帯
- e. Dusun Padang Malai (Tanjung Dama Tunggang), 18 世帯
- f. Dusun Padang Sano (Kampung Tengah), 37 世帯
- g. Dusun Kampuang Tarandam, 34 世帯
- h. Dusun Padang Sintuk, 35 世帯
- i. Dusun Lagan Condong, 29 世帯
- j. Dusun Kampuang Ujung Tanah, 73 世帯
- k. Dusun Kampuang Kapau, 41 世帯

12. 実は、上に示した通り我々が準備した緊急支援物資の数と実際の世帯数は同じではなかった。当初の調査では、400世帯と聞かされていたのだが、配布を始めてみると実際の世帯数は421世帯であった。このため、我々は同じ家に2世帯以上で同居している家に1セットを配布した。村人はこれを受け入れグッドネーバーズが正確な人数を知らされてなかったことを理解してくれた。

13. 活動 :

我々は北スマトラのメダン市より支援物資を調達。
2台のトラック24時間かけてパダン市まで運んだ。

支援物資の配布のあたっては、12名の地元ボランティアが協力。会場（中学校の校庭）の設営、支援物資の準備と配布、集まった人々を静かにしてくれるなど助けてくれた。

配布作業は、コミュニティリーダーが名前を呼び、一列に並んでもらい、配布するというやり方で行った。11のエリアのうち、3つのエリアの住民が、道路状況が悪く孤立していたり、遠すぎるため配布場所まで来ることができなかつたため、各人数を村のリーダーに託し、待っている住民に配るようお願いした。（念のため、孤立した一つの村に同行し、リーダーが村で配るのを確認した。）

村の人に話を聞いてみると、彼らは地震の後今までどこの助けもなかつたのでとても助かつたと言った。

今までは、古い友人や別の村の親戚、たまたま村を通り過ぎる人に援助をしてもらっていたそう。しかしこれらは十分ではなかつた。たとえば、50から75家族に対し米60キロでは、一日分にもならない。

村の人々は、グッドネーブーズの支援キット（医薬品・食料・水など）が全世帯に配られたことで、彼らが世界から見捨てられていないということを感じたようだ。

14. 村の近況：

彼らはまだ家の前や学校の校庭に作ったナイロンシートのテントで生活している。ベニヤ板やメッキのプレートで一時的な住まいを作り家族を守っている。電気が復旧していないため明りはなく夜には完全な闇に包まれる。何人かはランプやろうそくを使っているが、何人かはそうではない。

15. 支援物資の内容（1袋あたり）：

1. 医薬・衛生用品：
 - 石鹸5個
 - 歯磨き粉2本
 - 歯ブラシ5本
 - シャンプー2本
 - タオル2枚
 - 生理用品2袋
2. 蚊取り線香2箱
3. 蚊帳1枚
4. 毛布1枚
5. マット1枚
6. 部屋履き3足
7. 水9本
8. 米10キロ